

# 経営比較分析表

岐阜県 本巣市

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分                         |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法適用       | 水道事業        | 末端給水事業 | A6                             |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 49.93       | 85.26  | 2,073                          |

| 人口(人)     | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )   |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 35,175    | 374.65                   | 93.89                      |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 29,859    | 32.31                    | 924.14                     |

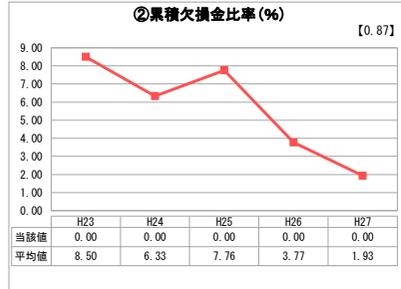
**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



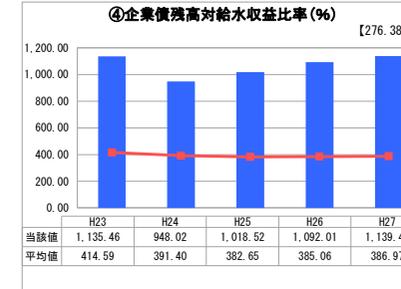
「経常損益」



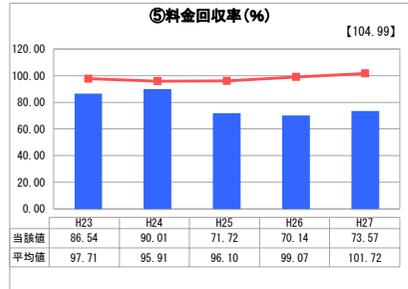
「累積欠損」



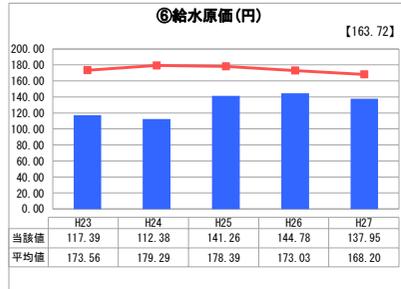
「支払能力」



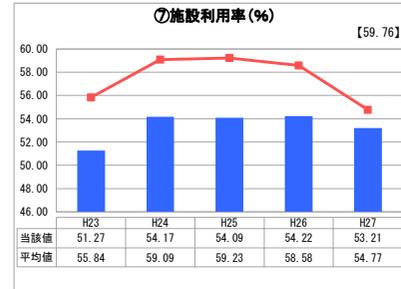
「債務残高」



「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

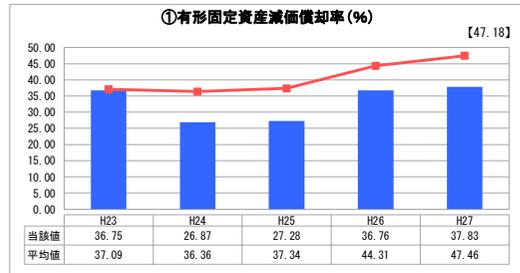


「施設の効率性」

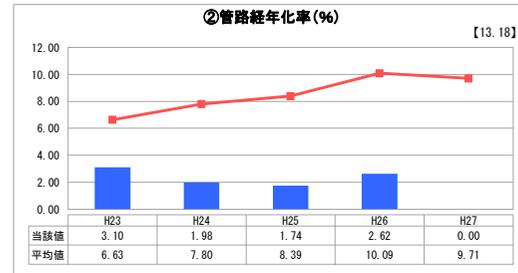


「供給した配水量の効率性」

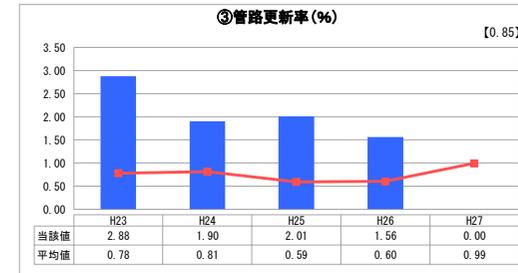
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

上水道事業は、単年度においては黒字であります。給水収益だけでは費用が賚えないため、一般会計補助金により経費の一部が賚られている現状であります。類似団体と比較の対象となった水量の割合は、H27年度においては改善がみられるものの類似団体と比較すると低いため、漏水等の原因を引き続き特定する必要があります。

また、施設の規模に対する利用状況は、類似団体と同程度にあります。なお、水道水として供給した配水量のうち料金徴収の対象となった水量の割合は、H27年度においては改善がみられるものの類似団体と比較すると低いため、漏水等の原因を引き続き特定する必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

類似団体と比較すると水道管路の老朽化率は低く、耐震管への入れ替えによる管路の更新割合が高いことから老朽化への解消が図られていますが、今後においても管路の更新に係る財源の確保が必要です。

※本市のH27の管路経年化率0.00⇒2.90 管路更新率0.00⇒1.37に訂正します。

### 全体総括

水道事業は、公営企業であるため独立採算が原則ではありません。しかし、一般会計補助金により経費の一部が賚られている現状であるため、今後は、給水収益等の財源確保による経営基盤の強化が必要です。また、漏水対策等による有収率の向上や適切な施設の維持管理による経費の節減などにより、計画的かつ効率的な事業運営を目指し、安定した水道水の供給に努めます。老朽化した管路については、耐震管を採用し災害に強い水道を目指します。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。